一日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘[illegible]
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　磐城活版所
福島縣石城郡平町[illegible]町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（月曜、祭日）休刊

小學校增築問題
二派に別れて抗爭
現在校舍に二階をあげる說と
南町裏に第三校建設說

現在約三千五百名の小學兒童を有する平町では逐年小學兒童の收容に惱まされ第一、第二兩小學校で收容しきれず、磐中舊校舍にその一部を收容してゐる狀態であるが、町民內一部は敎授[illegible]習上或は經濟的方面より考へて現在の兩校に二階を增築し之を緩和しやうとする說相當有力で過般三萬圓の工費を計上し問題を論議するに至り去る十九日委員會を開いて審議するなど或は會議を通過するではないかと考へられてゐる。然し乍ら、現在の學校に通學不便なる町民は第一、第二兩校を增築する事に極力反對し第三小學校建設を主唱してゐる、即はち現在の兩校共通學に不便であるから南町裏に第三小學校を獨立して建設すべきであると猛運動を起し鎌田町等は全町民の調印をとつた外新川町、南町等は數回に亘り會議を開いて運動を開始する手筈を決めてゐるといふから解決までは相當波亂を見るものと察せられてゐる、尚ほ之に關する委員會は二十二日平町役場に開かるゝ筈である。

▲大野陪審員

大野村の陪審員候補者左の如し。
高木勘次郎、西山藤八、山野邊德重

鹽屋崎燈臺
霧笛信號
國營移管陳情

豊間村鹽屋崎燈臺に昨年八月四千圓の經費で建設した霧笛信號機はその恩惠に浴するは獨り同地方のみでなく宮城、茨城、千葉その他であるがその維持費は年六百圓宛を要するが村財源不の折柄之を村營にしてたく事は出來ぬから國營にして欲しい足と十八日縣を通じて寄附採納方を陳情した。

電燈値下
運動開始

郡山市に於ける電燈値下げ運動の余派は平地方にまで影響し過般來平地方にも宣傳ビラ或は演說會開催等該問題に關する運動頻々と催されてゐたが、今回日勞黨石城支部廣瀬貞、貫虎會吉田廣三郎、大谷榮藏外二氏は二十一日午後零時半東部電力株式會社平營業所を訪れ武田所長に面會し

一、電燈料並に動力料三割値下げ即時斷行
一、休燈料の廢止
一、名儀變更料金徹廢
一、取外し料金徹廢

外數件を要求した、之に對し武田所長は本社と打合せの上返答すべき旨を告げ別れた。

小學校に
水產校併置

本縣に於ける水產業が他縣に比し比較的振はぬのは漁村民が水產知識に乏しいためであるといふ處から縣では水產補習敎育の徹底的普及を計る事になつた、現在石城郡で水產敎育の備つてゐるのは四倉商業水產、小名濱農業水產、江名實業の三補習學校に水產科が併置されてゐるのみであるが、本年度中豊間、高久、勿來の三村にも水產科を併置せしめる事になつた。

▲草野村入營兵

草野村本年度入營兵左の如し。
▲十二月一日（近衞）渡邊美太郎
大平義重、（野砲）宇佐美
▲三年一月十日（步兵）渡邊茂十
宇佐美房一、阿部與一郎（鐵道隊）高岡武重、坂本一二、松本正（中野電信隊）折笠清
▲六月十日（步兵）片寄勇、中島政勝
▲四月一日（輜重兵）松本新作

婦女を誘拐して
水仕に賣り飛ばす
二十日東京で捕はる

茨城縣筑波郡上郷村大字上郷字津野吉藏（三五）は十月中東京府下に於て綠川ふじ（十八）佐藤たつよ（十六）二名に金指輪を與へて巧みに誘拐し俺の家に連れて行つてやると稱し小名濱町飲食店山口屋事志賀みつ方に至りふじは前借百七十圓、たつよは前借三百圓で水仕に賣り飛ばし東京市に戾つてゐた處をつきとめた平署では東京府下寺島署に依賴して取押へ二十日平署猪狩刑事出張犯人を連行し目下余罪取調中である。

▲大野村入營兵

大野村から來る二十一日入營者如左
（橫須賀）金成吉宗、北村壽雄
▲一月十日（步兵）猪狩康夫、金成登（山砲）吉田哲夫（飛行隊）佐藤正
▲九月一日（衞看）吉田慶治

縣下肥料商
協議會

縣下肥料商同業組合協議會は二十一日午後二時から平町元石城郡役所に開き明年度豫算の打合せをなし二十二日午前十時から代議員會を同所に開くと。

▲草野陪審員

草野村陪審員候補者は左の四名當選した。
松本伊平、樫村清作、樫村廣松、鈴木寅吉

久保町の賭博
平署に捕はる

永戸村大字合戶字浮谷青木常(四四)同村大字渡戶字高野農業青木元近（三六）外四名は二十日午後四時頃から同八時頃までの間平町久保町飲食店太田屋方の座敷で丁半と稱する現金賭博を開帳中平署員に踏み込まれ逮捕された。

▲災害救濟貯金會

四倉町第四區中部菅波豊太郎、渡邊爲八郎、渡邊忠敬三氏等發起となり災害貯蓄會を創立した。

養蠶組合で
煉炭製造獎勵

石城地方の養蠶家は春蠶に際して室內の溫度を保たせるため從來木炭其他を使用してゐたが之は非常な高價につくので今年冬の農閑期を利用し石城郡養蠶同業組合が主唱し石炭と粘土とまぜた煉炭の製造方を獎勵し之を春蠶に使用せしめる計劃をたて準備中であるが、製造の希望者には成田技手等實地について指導を行ふと。

▲坑夫慘死

內郷村磐城炭礦宮澤坑坑夫宮城縣古河町生れ太田新造（二四）は十五日午後六時頃入坑作業中落磐のため壓死した。

兒童樂劇
愈々本日から

川上貞奴の率ゆる川上樂劇團一行は二十日水戶市で開演し大歡迎をうけ二十一日、二十二日兩日平町平劇場で開演する筈であるが同一行は既報の如く久留島武彥氏を相談役とするもので該一行は過般東京市帝國劇場に於て前後四回の公演をなし滿都の人氣を集めたもので舞臺裝置の如きは帝劇そのまゝのものを折疊式として全部持參した等平地方では到底再び見られざるものであらうと。

▲天勝開演

來る二十二日より四倉町海盛座に於て東京松竹派天勝孃一行をまねぎ花々しく開演をなすと。

▲オール平勝つ

既報オール平對湯本クラブ野球戰は二十日午後一時から磐中球場に於て湯本先攻で試合を開始したが結果十A對九の得點でオール平の勝利に歸した、スコーア左の如し。

回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
平	0	1	2	4	0	1	1	0	1A	10A
湯	1	0	3	0	0	3	0	2	0	9

鄕土の誇り……平町本田君の
帝展の「夜蔭」偶感
（四）　東京にて　永山勇吉

この秋に當つて、大森、本田兩君の如き、年若き天才藝術家の、忽然として出現し來たつたことは、やがて勃らんとする石城靑年活躍の前兆をなすにあらざる哉。

□

石城の四境は山に閉され、思想從つて固息因循、そこで少しく傑出した者が出よふとしても、これを援助しその天禀を發揮せしめてやろうとする人が尠い。特に老寄が若い者の擡頭を妬視する有樣は他では見られぬ光景だ。入國法度出國御免の時代はそれでもよかろうが、今日の時勢に、なほこの陋習を追ふて醒めざるに於ては、わが石城は再び明治維新以來のザマで、これから復た六十年間、徒らに鰹のサシミを自慢してゐる他はあるまい。

□

私は、本田君からの手紙を一讀して、一掬の淚なきを得なかつた、それと同時に、わが石城の生める斯の如き天才をして、更に偉大ならしめんが爲め、我等はその前途を祝福すると同時に、相擁してその俊才を伸べしめ、久しい間小さくなつて居たわが石城の存在を、之の秋を期して、汎く天下に知らしめなければなるまいと痛感した。折しも私は或る人を通じて今や石城には勃々想ひを同ふするの士が出て來て、就中靑沼鋒太郎、於本德一、諸橋守次の諸氏等はわが天才藝術家の爲めに、篤志を懷いてゐらるゝといふことを耳にした。共に感謝に堪へぬ次第である。乃ち偶感を記してわが郷里の生める天才藝術家の前途を祝福せんとするものである。

同業消息

▲福島新聞平支局渡邊文氏當分社內勤務を命ぜられ郡山市滯在中。

▲「詩南軍」發刊　平町を中心とする文藝同好青年子女に依て組織された詩南社の同人雜誌「詩南軍」十一月號は平町五丁目二十八番地片寄泰治方から發刊された。

長途騎乘　櫛田氏の通信

（第十九信）　櫛田彦之進

◎岡山市にて

▲十六日（晴）午前片上村出發村、玉島町（晝食）方條院村、里庄村を經て午後四時小田郡笠岡町に到着一泊す。馬匹も非常に元氣、此分なれば安心と思はれるが樂觀を許さず、目的地近づき通知地方も大歡迎である。四十三日行程四百七十里、明日は廣島縣尾の道町に向ふ。

（詩）「さびしき死」　飯村閑舟

闇を破りて飛びゆく
さびしさの影は
流れ星。
逝くは野末の
はかなき墓よ

洋生特製品

◎シユクリーム
◎アツプルパイ
◎ドーナツ
◎スイトポテト
外永野の特製パン

其他各種

御用命次第早速御屆け申上ます

永野キヤンデーストアー
平町二丁目（電話七五五番）

伊部村　備前燒の産地、香登町御休村、古津村を經て財田村で晝食。午後一時出發、二時岡山市に到着す。午後より馬匹歩行困難なり、獸醫の診斷を乞ふに腱炎と斷す。十七日は岡山休養の豫定なれば休養す。十五日赤穗を廻りしは拙者の不注意なりしなり、此地前報の如く惡路急坂多く疲勞せし馬匹を以て通過せしは全く誤りなりしなり。本日（十八日）休養を勸めらるゝも出發の見込。（十八日午前五時）

▲十九日（晴）午前九時郁窪郡倉敷町出發、西阿知村、河内

ふとも有りし日を
ふりかへり見れば
ルビーの如く
薔薇の如く
輝きわたる
銀の目の、うかび出づ。
女像よ
それすらに忘れしごとく
去りゆく臨終
闇から闇へ
さびしさの影は
流れ星。
されど思ひし
やみがたき胸
やすらかなれと
祈るもの
あゝ、寂しきは
死にゆく君よ。

牛肉の廉賣に就いて
——皆様へ謹告!!!

弊店に於て廉賣中の牛肉が余りに安いので宛も不良品か或ひは青島牛であるかの様に宣傳する者がありますが正眞正銘優良なる内地牛で平素謝恩の微意から薄利を以て提供するに外ありません。尚ほ不得止引き續き左の廉價で奉仕致しますから、どうぞ、爲めにせん爲めの宣傳にお迷ひなく一層の御贔負の程偏にお願ひ申します。

回牛肉の部

並肉　百匁　金三十錢
上肉　同　金五十錢
ロース　同　金七十錢
ヒレ　同　金九十錢
豚並肉　百匁　金三十錢

平町停車場前（平劇場入口）
深谷牛肉店
電話五二四番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店　西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

買ひ好く店
良品ヲ安ク賣ル
クースーリ
クースーリ
開内藥局
藥剤師　開内栄助
平四　電話四番

最も優秀なる効力を有する新藥
腦を健やかにし精力を増し血色を美しくする新藥
「神活」
藥價　壹圓、貳圓、參圓、五圓
代理店　大平屋藥舖
平一丁目　電話六四二

胃腸　内科　專門　十二指腸虫病
梅毒　淋病　婦人病　專門　皮膚病
平南町　松村病院　電話一〇七

原齒科医院
平町七橋通り
電話三一番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

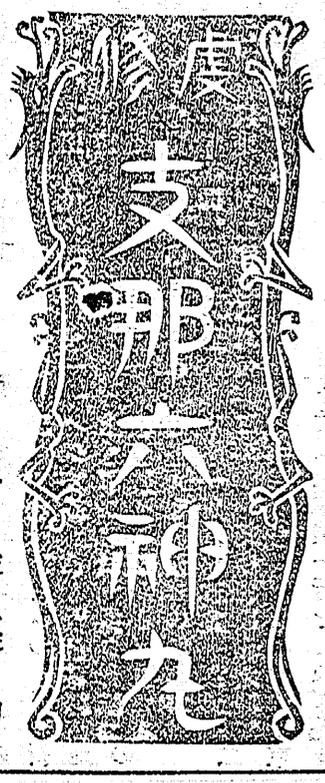
平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

驚異的……靴の投げ賣
自製優良革底……靴

最上ボックス革　半靴　七円五〇ヨリ
同　編上靴　九・五〇ヨリ
船來赤革　半靴　九・〇〇ヨリ
同　編上靴　一〇・〇〇ヨリ
同　キツト黒・茶　半靴　一二・〇〇ヨリ
同　編上靴　一三・五〇ヨリ

全部自家製品ニテ一足毎ニ弊店マーク貼付
大塚支店開業以來の御買ひ時!!!
平・田町
電話七〇二番
大塚支店製靴部

神戸海上運送火災保險會社平代理店
共保生命保險株式會社磐東代理店
貸家
白銀町　商店向　二十六圓
仲間町　勤人向　十圓
柳町　勤人向　六圓
鷹ノ門　勤人向　七圓
仲間町　勤人向　八圓
北白銀町　勤人向　五圓五十錢
柳町　勤人向　五圓
鷹ノ門　勤人向　八圓
皐月を見ながら昭和園へ御遊びに被入して下さい
平町白銀町（電話三二番）
加藤丈夫營業所

オートバイ　賣物あり
（委細面談）
平町白銀町
高島屋洋服店
電話八〇七番

虔修
支那六神丸
特約店　平町五丁目　山野邊藥局